

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ふるさと郷育応援事業
事業主体 (連絡先)	ふるさと郷育応援事業実行委員会 0265-85-2314
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,154,600円 (うち支援金: 1,615,000円)

事業内容

●教材等の作成

- 1 写真集の作成
- 2 写真パネルの作成
- 3 フィルム・写真の電子データ作成

●教材等を活用した事業

- 1 ふるさと郷育での活用
- 2 ふるさと発見講座での活用
- 3 ふるさと発見講座以外の公民館事業(各種教室・講座等)での活用
- 4 その他の事業での活用
- 5 写真パネルの活用

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 写真教材を活用した小学校での講演と、郷土学習のための教材となる写真集を作成・配布し、「ふるさと郷育」の支援をすることができた。
- ② 講演会・パネル展には村民全体の1割を超す参加者があり、郷土に対する愛着心を一層高めることができた。
- ③ 新聞報道やケーブルTV等で何度も取り上げられ、村民はもとより上伊那全域、あるいは長野県全域に宮田村の情報を発信することができた。
- ④ 作成した写真集は、「ふるさと郷育」の支援となるばかりでなく、宮田村の風景・文化・伝統・自然を後世に伝える貴重な記録資料となった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後、作成した写真集や写真パネルを一層活用してもらうよう、村の小・中学校に働きかけると共に、今年度実践できなかった出前講座や本陣おいで塾等での活用を図る。また、より多くの村民の郷土愛醸成のために、写真集の増し刷り・頒布等も検討する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【完成した写真集】

【目標・ねらい】

- ① 「ふるさと郷育」の支援
- ② ふるさとを思う愛着心の醸成
- ③ 村内外への情報発信、PR
- ④ 記録資料としての保存・伝承

※自己評価【 A 】

【理由】

多くの人々の関心を集め、講演やパネル展には村内外から多数の参加者を呼ぶことができた。また、子供たちをはじめとする多くの村民の郷土に対する誇りやアイデンティティを高めるという点で、多大なる貢献ができたため。